

タミヤ模型より8月に再販されYZR500(OW70)を作成します。

キットは平忠彦仕様で発売されていますが、モデューロ製YZR500用ホイールを使用しマルボロカラーとゴロワーズカラーの2車種を作成します。

## 1. タイヤサイズの調整

キットのホイールは18インチとしては大きく作られており、タイヤを正確に18インチに再現されたモデューロ製YZR500用ホイールに合わせるため切り詰める必要があります。

サイズの調整が終われば、切断面を瞬間接着剤で接着、接着した部分をサンドペーパーで削り目立たなくしておきます。



## 2. フロントフェンダーの調整

タイヤサイズが小さくなった分、タイヤとフロントフェンダーの間隔が開き過ぎるので調整が必要となります。フロントフォークを切り詰めても良いのですが、お手軽にフェンダーの取り付けプレート(写真の黒く塗った部分)の下側を薄く削り調整します。



### 3. ホイールの選択

マルボロカラーはサンマリノGP仕様で作成しますので、フロントはBEYMAGの4本スポークを、リアはMORRISの7本スポークのホイールを使用します。ゴロワーズカラーの方はフロント、リアともBEYMAGの4本スポークホイールを使用します。フロントディスクローターもキットの物とは異なり、BEYMAGホイールセットに入っているディスクローターを使用します。



グレー(サーフェサー)のパーツがホイールセットのパーツです。

### 4. シートカウルについて

マルボロカラーはキットのままのシートカウルを使用しますが、ゴロワーズカラーのYZRには何種類かのシートカウルが確認できます。その中でもダッチGP?で使用された一番デカく不細工なシートカウルを制作します。キットのシートカウルをベースにプラ板を貼り、ポリパテを盛りまくり整形します。



\*左がゴロワーズ用、右がマルボロ用

## 5. キットの組み立て

キットは16年前に発売されたもので、現在のキットと比べれば少し手が掛かります。特にエンジンのパーツの摺り合わせや、フレーム、エンジン、チャンバーの仮組を十分行ってください。そこさえ押さえておけば最終組み立てで泣くことはないと思います。またエンジン等は、面倒がらず色数を増やすことで見応えのあるエンジンとなります。ラジエターホースはキット付属のビニールチューブを使用しますが、その他のコード類は手芸用カラーゴム紐を使用箇所によって太さを変えて使用します。



## 6. 完成

少し前までのプラモデル制作の基本だった、バリ取り、ヒケの処理、摺り合わせ、仮組等手を掛ければ掛けるほど出来上がり良くなり、手を抜けばそれなりにしか出来ないキットで、忘れかけていた基本を勉強することのできる良いキットだと思います。

